



なんぶ

議会だより

第36号

平成25年9月議会

発行 平成25年11月1日

町単独の農地災害 復旧制度を創設

- 9月定例議会…………… 2
- 住民説明会 …………… 4
- 平成25年度補正予算 …… 5
- 一般質問ダイジェスト …… 6
- 視察研修……………11
- 議会活動日誌……………11
- あとがき ……………12

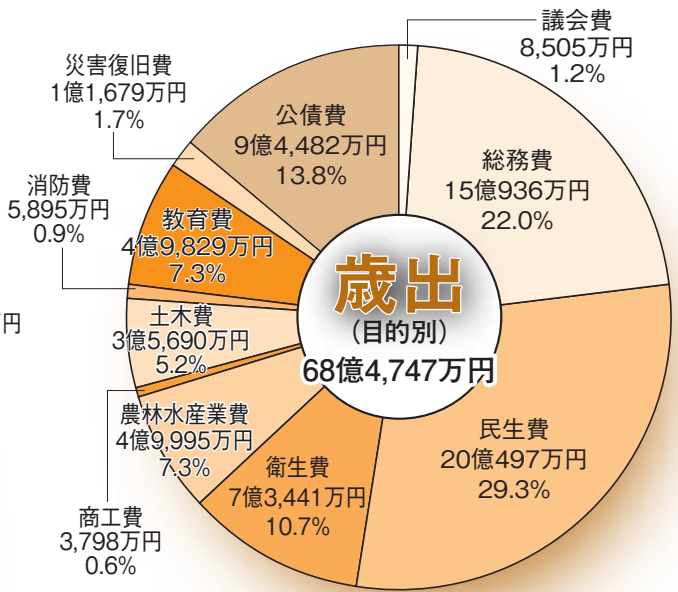
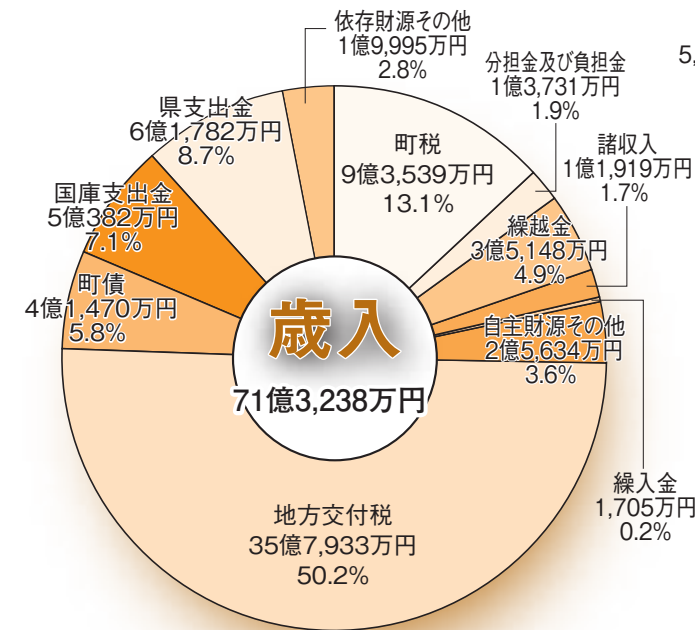
一般會計

**9月
定例議会**

賛成 10人
反対 3人
で認定

一般会計の状況

☆歳入71億3,238万円
(前年比1億6,674万円減)



☆歳出68億4,747万円
(前年対比1億17万円減)

形式収支は2億8,491万円。この収支から翌年度へ繰り越すべき財源9,880万円を差し引いた実質収支は1億8,610万円の黒字となった。

主な事業

- | | |
|----------------------|-----------|
| ○住宅用太陽光発電システム設置事業 | 1,809万円 |
| ○ゆうらく施設整備事業 | 1,600万円 |
| ○公設民営保育園運営事業 | 1億8,512万円 |
| ○水道統合事業 | 4,481万円 |
| ○公益法人組織変更事業 | 2,893万円 |
| ○次世代につなぐ地域農業バックアップ事業 | 1,529万円 |
| ○しっかり守る農林基盤整備事業 | 1,775万円 |
| ○古事記編纂1300年再活の町南部町 | 1,457万円 |
| ○吉本新喜劇南部町公演 | 355万円 |
| ○橋梁長寿命化改修事業 | 3,451万円 |
| ○防災行政無線デジタル化改修事業 | 999万円 |
| ○小学校遮熱ブラインド・天井扇設置事業 | 530万円 |
| ○法勝寺電車保存修理事業 | 518万円 |



つくし保育園



吉本新喜劇南部町公演

討論

◎平成二十四年度
一般会計歳入歳出決算

反对

反対 ①町有財産の土地を「伯耆の国」に売却した件。

②保育園の運営を公設民営化として「伯耆の国」に事業を移管した件。

○き

④ 地域振興協議会は自治法に反しており、認められない

贊成

賛成 ①健全な行政運営がなされ、基金と起債残高も改善された決算である。

②「伯耆の国」の民営化について賛成しており土地売却もその一貫である。また、

事業運営についても問題はない。

③ 保育園の公設民営化については、町が

運営を管理する民間委託の形態である
保育内容も充実した。

④ 振興協議会は地域の課題解決と活性化に向け住民の先導となつて努力し



おおくに振興協議会まつり



伯耆の国「ゆうらく」

平成25年度補正予算

【一般会計の主な内容】

西部広域行政管理組合負担金……………2,208万円
（リサイクルプラザ機械設備改良工事）
住宅用太陽光発電補助金……………901万円
（自宅に太陽光発電設置の増加による）



大規模太陽光発電所起工式

全員一致で承認



住宅用太陽光パネル

追加議案

大規模太陽光施設設置工事に関する契約の締結について
契約金額……………5億3,999万円
契約の相手方 美保テクノス(株)

陳情・請願

審査結果

案 件 名	提 出 者(敬称略)	可 否	可 否 の 理 由
子ども・子育て支援新制度の導入に関する意見書提出を求める陳情	鳥取の保育を考える会 会長 石 井 由 加 利	不採択	（賛成）この制度の導入は保育の実施責任を崩すもの。 （反対）町は今後も保育行政を責任を持って遂行される。
南部町議会の住民に対する説明会の早期実現を求める請願	まちづくりを考える住民の会 代表 米 田 弘	不採択	（賛成）議会基本条例では5月中に開催となっており、不採択とする理由はない。 （反対）請願の内容に個人意見が求められており、議会基本条例の定め に反している。
年金2.5%の削減中止を求める陳情	全日本年金者組合 鳥取県本部 委員長 増 田 修 治 支部長 松 本 正 孝	不採択	（賛成）応能負担の原則を税制にもはたらかせ財源を確保すること。 （反対）低所得者に対し「年金生活者支援給付金の支給に関する法律」が成立している。
麻生副総理の「ナチスの手口を見習い、憲法改定を」という発言に対し、副総理及び財務大臣を辞任するよう求める意見書提出を求める陳情	憲法改悪反対鳥取県共同センター 代表 鳥取県労働組合総連合 議長 田 中 暁	不採択	（賛成）今の世界の事を考えると、この発言は政治家失格と思う。 （反対）発言の全文から、憲法改革 に対しての思いがあって、引き合いに出されたものと考ええる。

特別・水道・病院事業
会計決算状況と可否結果

(単位:千円)				
会 計 名	歳入決算額	歳出決算額	差引額	可 否
国民健康保険事業特別会計	1,394,852	1,391,309	3,543	賛成多数
後期高齢者医療特別会計	123,858	123,777	80	賛成多数
介護サービス事業特別会計	171,556	31,517	140,039	賛成多数
住宅資金貸付事業特別会計	2,499	2,499	0	賛成多数
建設残土処分事業特別会計	2,633	2,633	0	全員一致
墓苑事業特別会計	2,408	2,408	0	全員一致
農業集落排水事業特別会計	234,154	233,286	867	賛成多数
浄化槽整備事業特別会計	46,537	45,954	583	賛成多数
公共下水道事業特別会計	186,226	185,727	499	賛成多数
水道事業会計	179,343	183,525	△4,182	賛成多数
病院事業会計	2,442,041	2,335,168	106,873	賛成多数
在宅生活支援事業会計	24,985	27,699	△2,714	全員一致

討 論

◎水道事業会計
歳入歳出決算

反 対 公共料金の低所得者対策を実行すべき。公共料金審議会の答申に対しては慎重に対応すべき。

賛 成 企業会計の経費は、事業収入でまかなうのが原則。一般会計から財源も投入して運営されている。

◎病院事業会計
歳入歳出決算

反 対 診療報酬が上るのは経営上はプラスになるが、患者負担が増える。県は利子補給をしているのに町が対応しないのは、問題である。

賛 成 公立病院の多くが赤字の中、二十四年度は一億六千八百七十三万三千円の利益が計上されており、病院一丸となった努力が見られる。
反対する理由が理解できない。

住民説明会を開催

9月1日、午後7時より法勝寺のプラザ西伯において2回目となる「議会住民説明会」を開催しました。前半は議会サイドから、主に平成25年度当初予算並びに条例、陳情の審査結果の内容、各委員会の活動内容などの説明を行い、後半は質疑応答を行いました。

質疑応答では「伯耆の国」ゆうらくの施設譲渡、土地買売却に質問が集中しました。議会側の、本会議場並びに委員会室での質疑、意見、採決の結果などの内容を南部町議会として説明するための会という住民説明会の位置づけと、当日ご参加いただいた皆様の多くが望まれていたように感じられた個別議員との討論的な会のもち方とかみ合わず、相互理解を深めるというまでに至らなかったのは少々残念な事でありました。今後も更に検討を重ねて、よりよい意義深い説明会となるよう努めていきたいと考えております。



一般質問ダイジェスト

一般質問

土曜開校

杉谷早苗議員

災害復旧事業

三嶋義文議員

Q 我が南部町の考えは

A 積極的に取り組みたい

教育長



杉谷 近年、学校を取り巻く諸課題が多く見受けられる。

このような中、学校週五日制見直しの議論が顕著になっているように感じる。国際学力調査の順位の低下や教育現場の先生方の多忙感などが起因と考えられるが、加速的に土曜日の授業実施に向けて具体化が進められているように思われる。

我が南部町においては、教員の勤務体制の変更など大きな問題もあるが、県との連携を前提に、土曜日を、月二回、学校・地域に活用したい。

県の教育委員会の動向を踏まえ、我が南部町の考えを問う。



南部中学校運動会・西伯小学校運動会

Q 小規模災害の対応は

A 町独自の補助制度を創設して支援する 町長



三嶋 七月十五日の局地的豪雨では本町でも甚大な被害が発生した。被災箇所は災害復旧工事については、工費が四十万円以上のものでない国・県の補助事業の対象にならないと聞いています。しかし、被災箇所としては国の補助対象にならない小規模な災害のほうがあるか、多く発生しており、復旧される農家の皆さんには厳しい負担となっている。小規模災害復旧工事に対して、町として補助する考えはないか。

町長 このたびの局地的豪雨による農地災害の件数は百四十三件、被害総額は二億二千七百万円であつた。その内、被害額が四十万円未満で国の災害復旧事業の対象にならなかった件数は百四件と承知している。

こうした状況にあつて、被災された皆様、自己負担の軽減と農地の維持と継承につなげていきたいと考えている。



早田地内の被災現場

森林資源

景山 浩議員

熱中症対策

白川立真議員

Q 新たな活用策が必要では

A 循環型社会の町づくりを

町長



景山 低迷、林業従事者の高齢化や減少が進み、枝打ちや間伐もされず放置された森林が多くなってきた。

そのため、森林に期待される水源涵養、二酸化炭素吸収や防災などの各機能が低下してきている。

この問題に対しては木材供給源としてだけでなく、木質バイオマスなどの新たな利活用可能資源としてとらえた活用策が必要と考えるがどうか。

町長 町内の森林は町の面積の七十五%を占め、その約半分が人工林となつており、間伐及び下草刈りなどの管理が行き届かない森林が多くなっている。

木質バイオマスエネルギーについては、新エネルギービジョンに基づき法勝寺庁舎の冷暖房施設など取り組みを行なってきた。

伐材の回収の仕組み、薪製造を行うNPOの立ち上げ、ペレットの製造やハウス栽培施設への加温など、循環型社会の町づくりに向けて検討を加速させていきたい。

白川 近年は、夏季から秋季にかけて気温の上昇が目立つようになった。当町の学校内においても、高温による熱中症や、生徒や先生方の集中力低下を心配するがどのような対策をとっているか伺う。



薪ストーブ

教育長 平成二十二年以降、夏季における気温の上昇が急であるように思う。当町の小・中学校における熱中症対策としては、まず教職員が熱中症が発症するメカニズムを正しく理解し、必要に応じて水分や塩分の補給ができる環境を整え、下着が湿らないように着替え、一定の学習環境が整っていない場合は、今後さらに気象の変化や気温の上昇により十分な学習環境が保たれないとするならば、児童生徒の健康への影響なども勘案し、防暑対策を含めた総合的な対策が必要になると認識している。



会見小学校の天井扇

Q 内容の充実を求める

A 省令を基準に条例を定めたい

町長



亀尾

二〇一二年に成立した

「子ども子育て関連三法」では、今後国が学童保育の基準を法令で定め、市町村も条例で学童保育の基準を定めることとなる。国の制度の変更に

②週二〇時間を上限として勤務している。町の規定で支給しており、現状で理解いた

①設置場所
は児童の安全
を考えると、小学校
かその近くが望まし
いと考えている。

③子育て支援
制度では対象
を六年生まで
引き上げるこ

①設置場所と内容を
聞く。
②指導員の待遇改善
を求める。
③対象学年の改善を
求める。
④保護者の負担金額
の軽減措置を求める。



Q 町長の権限を行使した利益誘導では

A 今後決算状況の報告を求める

町長



真壁

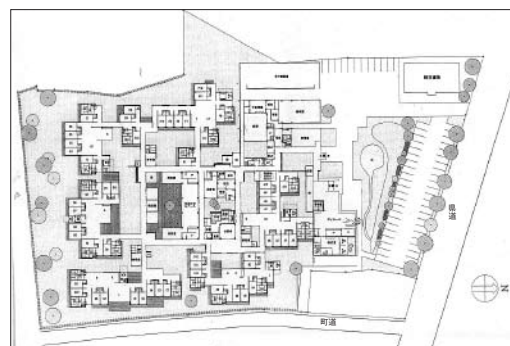
「ゆーらく」

の無償譲渡に
ついて「町の財産を法
人に渡さないと福祉
の増進が図れない」と
いうが、甚だ疑問だ。
以下の点を問う。

①なぜ、関連資料が
すべて情報公開され
ないのか。
②なぜ、議会議決に
瑕疵があったことを
承知で売買契約をし
たのか。

③なぜ、従来からの町
有地二区画が売買価
格に入っていないのか。
④無償譲渡は、町長
の権限を行使した二
法人への利益誘導で
はないか。

①情報公開で
一部公開され
ていない文書があった
ことは事実で、大変申
し訳なくお詫びする。
②議案の面積に誤り
はあったが、敷地全部
を売却という説明の
趣旨に誤りはなかつ
た。軽易なものと判
断をしたということ
だ。
③ゆーらくの土地は、
町が土地開発公社か
ら購入した。
旧落合公民館
用地（二区画）
の費用は入って
いないが、造成、
移転補償を行
っている。地代
がいくらだった
という話では
なく、町に損害
を与えていない。



「ゆーらく」平面図

豪雨災害対策

植田 均議員

少子化・子育て支援

板井 隆議員

Q 営農継続のため更なる支援を求める

A 町単独制度の活用を

町長



植田

七月十五日
以来本町に大
きな被害をもたらし
た豪雨による被災箇
所は、農地一四三件、
施設六六件である。

②週二〇時間を上限として勤務している。町の規定で支給しており、現状で理解いた

担の軽減をはかるべ
きではないか。
基盤交付金」も活用
する。
農地が荒廃するこ
とには危機感を感じ
ている。被災農家には
町単独補助制度の活
用をお願いしたい。

③ゆーらくの土地は、
町が土地開発公社か
ら購入した。
旧落合公民館
用地（二区画）
の費用は入って
いないが、造成、
移転補償を行
っている。地代
がいくらだった
という話では
なく、町に損害
を与えていない。



板井

南部町の将
来がかかっている
と云える少子化・
子育て支援対策をど
う考えているか問う。

町長

南部町が今
後生き抜く新
たな方策を模索し、
活力ある地域社会の
実現につなげるこ
を目的として、副町
長をトップに「少子化
対策プロジェクト会
議」を立ち上げた。

若手職員を中心と
した構成で、少子化
に対する現状分析や
提案を行うなど、活
発な議論をしている。
少子化問題は喫緊の
課題として認識して

いる。新年度予算に
向けて、広く少子化
対策について提案した
い。

子育て支援は現在
行っている特別医療な
どの医療助成、児童
扶養手当や保育料の

軽減を行っている。
保育サービスでは
さくら保育園に0歳
児室の新築、保育時
間の延長を実施した。
今後も、子どもと
家庭への支援を積極
的に行っていくたい。

町長

国・県の補助、町の
財源見通しを明らか
にし、復旧農家の負

担の軽減をはかるべ
きではないか。
基盤交付金」も活用
する。
農地が荒廃するこ
とには危機感を感じ
ている。被災農家には
町単独補助制度の活
用をお願いしたい。



あご牛地内の被災水田



西伯小学校運動会



「学童保育に子ども用のトイレがない!」こんな声が届いて早速プラザ西伯に、学童保育で利用している二階には男児用のトイレがないことがわかりました。子どもたちは指導員の方々と元気に過ごしていました。

河川災害状況



7月15日のゲリラ豪雨によって災害を受けた上中谷(笹畑)の河川の被害状況を確認しました。

町では現地以外に驛牛川・東長田川・小松谷川などに甚大な被害があり、10月21日に開催された臨時議会で災害復旧補正予算の提案があり可決されました。

視察研修



賀祥ダム 小水力発電

平成元年に完成した賀祥ダムの維持放流水を利用した水力発電所が完成しました。鳥取県企業局職員の方から説明を受けました。

《発電の概要》
最大出力 260キロワット
売電電力量 1,400MWh/年
(約390世帯分)

臨時議会

★災害復旧費……1億9,699万円を全委員一致で可決

8月		会議・行事
日	土	部落解放同盟南部町協議会並びに南部町同和事業推進協議会第9回定期大会
6	火	南部箕蚊屋広域連合議会議会運営委員会 監査とりまとめ 議会改革調査特別委員会 災害現場等現地視察
9	金	全員協議会
16	金	臨時議会 議会改革調査特別委員会
20	火	議会運営委員会
21	水	2か町清掃施設管理組合議会
23	金	箕蚊屋広域連合定例議会
26	月	例月検査
27	火	西部町村議会議長会行政調査
28	水	西部町村議会議長会行政調査 一般質問締切
29	木	県議会広報研修会 西部町村議会議長会行政調査

9月		会議・行事
1	日	南部町議会住民説明会
2	月	南部町遊林農地パトロール出発式
3	火	西部町村議会議長会研修会 「賀祥発電所」の運転開始式
6	金	9月定例議会初日
7	土	南部中学校運動会
8	日	法勝寺中学校運動会
9	月	町政に対する一般質問
10	火	町政に対する一般質問
11	水	予算決算常任委員会
12	木	予算決算常任委員会
13	金	予算決算常任委員会
14	土	西伯小学校運動会
16	月	あいみ富有の里敬老会
17	火	予算決算常任委員会
18	水	予算決算常任委員会 総務経済常任委員会 民生教育常任委員会
19	木	予算決算常任委員会 総務経済常任委員会 民生教育常任委員会 議会改革調査特別委員会
21	土	第30回全国都市緑化とっとりフェア たそがれコンサート
24	火	議会運営委員会 議会全員協議会
25	水	9月定例議会最終日
27	金	徳島県北島町行政調査受入 例月検査
28	土	つくし保育園運動会 ひまわり保育園運動会
29	日	あいみ地区運動会
30	月	鳥取県西部広域行政管理組合議会 ごみ処理施設等調査特別委員会

10月		会議・行事
5	土	すみれ保育園運動会 さくら保育園運動会
7	月	メガソーラー起工式
8	火	監査委員全国研修 広報調査特別委員会
9	水	監査委員全国研修
10	木	JIAM町村議会議員特別セミナー 平成25年度南部町戦没者慰霊祭(献花式) 南部町会見地区遺族会総会 西伯地区老人クラブ康運動会 平成25年度全国都市緑化祭
11	金	JIAM町村議会議員特別セミナー
13	日	手間地区敬老会
18	金	秋の山菜会を楽しむ会 西部町村議会議事協議会議会事務局長会議 並びに送別会
19	土	会見地区高齢者健康福祉運動会 エコツアーリズム国際大会2013in鳥取
20	日	第26回南部町緑水湖マラソン大会
21	月	議会全員協議会 臨時議会
27	日	ボランティアフェスティバル開会式 解放文化祭
28	月	伯耆町議会行政調査受入
29	火	鳥取県西部広域行政管理組合定例会
30	水	鳥取県局長県外研修
31	木	鳥取県局長県外研修

秦 平成十九年度、カントリーパーク用地取得事業の附帯事業として残土処理場ミトロキリサイクルセンターが開設され、残土受け入れが始まり、現在に至っている。

しかし、年内にも埋め立て用地が満杯になり、事業が終了とのことだが、どのような状況なのか説明を求める。

次に事業終了後の用地活用の計画だが、カントリーパークの駐車場、スポーツ多目的広場などの計画、また、太陽光発電所計画が

町長 考えられると思うが、町としてはどのような事業の構想を持っているのか伺いたい。

平成十九年九月から建設残土の搬入を行い、計画では可能受け入れ量は四九万㎡。現時点の累計搬入量は四一九九三七㎡で十二月には目標に達すると考えている。

この事業に対しての感想は、残土と搬入に伴う収入で土地や、アクセス道路の整備が可能となり、また、センター運営に地元の雇用も生まれ、成果が上がった事業だと考えている。

用地の活用としては、当初の整備計画から、今後は具体的



ミトロキ残土処分場

細田 私たちの団塊の世代が高齢期に達すれば非常に高齢者社会になる。二〇二二年には六十五歳以上人口が全国平均で二十三％にもなる。また、それに併せて人口も急速に減っていく、独居高齢者世帯が増える。

独居高齢者の意識調査では、九十％以上の方が今後ここに住みつづけたいと考えており、四十％の方が自宅で介護サービスを受けることを希望しておられる。年金収入も全国平均より低い状況で今後の高

町長 団塊の世代が七十五歳到達のピークになる十年後には南部町の人口は九千六百人あまり、六十五歳以上の人口は三千七百人ほどとなり、高齢化率は三十九％近くになるという数字が出ていく。

介護保健サービスにおける要支援者の高齢者の住まいなどの施策をどのように考えるか。

今後の高齢者の住まいについては、自宅での生活を基本として、介護サービスや医療サービスが受けられる体制整備を行っていく。



ミトロキリサイクルセンター

秦 伊知郎議員

高齢者施策

細田元教議員

Q 残土処分場の現状は

A 年内に終了の予定

町長

Q 住まいなどの施策は

A 自宅での生活を基本に

町長

なつかしの 我が校舎

井塚照雄さん談

♪ 太古の文化 清水と流れ 純朴の気は
白ゆりと咲く 賀野の里 賀野の里…。

これは、懐かしい賀野第一小学校の校歌です。私も来年は古希を迎える年齢になりました。同期生が集まると酒を酌み交わしながら今でもよく歌います。中学校の校歌は忘れても小学校の校歌は全員が覚えているから不思議です。

2階建ての木造校舎、歩けばさしみ音が出る古い体育館、運動場の脇には数本の桜の古木があり春になると見事に花が咲き誇り、秋の運動会では、村中の人が集まり大きな歓声が響き渡っていました。

3年間担任だった恩師の先生は今も健在。私たち同期の友も年を重ねるごとに、ますます強い絆になっていくことを痛感しています。



賀野第一小学校(昭和30年頃)

表紙写真

町単独の農地災害復旧制度を創設

国の災害復旧事業の対象とならない被災農地の災害復旧を促進し、地域の農業衰退を防止するため、町単独農地等災害復旧事業が創設されました。

国の農地災害復旧事業では四十万円未満の小規模農地災害は対象外で全額自己負担での復旧となります。数多く発生したこのような小規模農地災害の復旧が進まなければ、耕作放棄地発生の原因ともなり、地域農業に大きな影響を与えることが懸念されていました。

この事業では、建設業者による施工が求められますが、工法について大幅な自由度が認められています。経費の自己負担比率は十五%となります。担当窓口は産業課ですので、お気軽にご相談ください。



あとがき

◆九月三日には小水力発電所「賀祥発電所」の運転開始式、十月七日にはメガソーラーの「鶴田太陽光発電所」の起工式と町内で二つの再生可能エネルギー施設の取組みが相次いでスタートしました。

また、南部町議会では年明けにバイオマス発電施設の行政視察を予定しており、一気に再生可能エネルギーへの関心が高まった感があります。

私たちの身近にあるエネルギー源を有効に活用していくことは、資源や自然環境の保全、地域経済の改善に大いに役立ちます。

近隣町村でも同様の取り組みが始まっているようです。住みよい南部町とするために、新たな技術の導入や地域資源の積極的活用、官民挙げて知恵を絞ることが求められています。

